

# パオちゃん's EYE

2021年10月1日発行 No.55

## アユモドキの飼育展示

国指定の天然記念物アユモドキの飼育展示を当館 1 階のミニ水族館で7月24日から開始しました。ご覧になっていただけましたか。しま模様が入った、少しずんぐりとした体形、3対の口ひげを生やした顔、とてもかわいいです。

「熱帯魚みたい」と言われることがありますが、れっきとした日本の在来種です。日本の固有種であり、岡山平野を中心とした地域の数河川と琵琶湖・淀川水系のみという特異な分布域をもっています。近年、絶滅したとされる河川が多く、現在、繁殖が確認されているのは岡山県の旭川と吉井川、京都府の桂川の限られた3か所のみとなっています。環境省のレッドデータブックでは絶滅の危険性がもっとも高い絶滅危惧 I A 類に指定されています。

当館で飼育展示しているのはお隣町の岡山市から譲渡された旭川水系産の個体です。岡山市教育委員会では、万一の野生個体の絶滅に対応するため、計画的に人工繁殖し、得られた個体を放流するほか、市内の小学校や公民館などで分散して飼育しています。分散飼育するのは得られた個体が何らかのアクシデントにより全滅するのを防ぐためです。当館の飼育展示はこの一翼を担うものでもあります。飼育管理にあたっては倉敷芸術科学大学生命地球学科にご協力いただいています。



展示中のアユモドキは、まだ人慣れしておらず、おおかたは石や木の下に隠れています。出てきても、人影に敏感に反応してすぐに隠れてしまいますので、ゆっくりと動くことを心がけて、じっくりと観察してみてください。

**江田伸司(動物担当)**

パオちゃん's EYEに関するお問い合わせは

**倉敷市立自然史博物館**

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには  
いろいろな情報がいっぱい♪  
「倉敷市立自然史博物館」で  
検索してみよう! パオより

